

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8号 機械振興会館内
 TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354
 西日本支部：〒663-8133 兵庫県西宮市上田東町4-97 甲南電機(株)本社内
 TEL. 0798-40-6600 FAX. 0798-40-6645

—第25回IFPEX2017開催—

当会とフジサンケイビジネスアイが共同主催し、3年毎に開催している「第25回IFPEX 2017(第25回フルードパワー国際見本市)」が9月13日(水)～9月15日(金)までの3日間の日程で、東京ビックサイト東4号及び5号館で開催されました。今回は、併催展として、第19回自動認識総合展、第14回総合試験機器展2017、測定計測展、センサエキスポジャパン2017、第2回海洋産業技術展の5展示会が同時開催となりました。開会式当日は、晴天に恵まれ、午前9:30から4号館受付前で開会式を開催し、当会の永久会長が主催者を代表して開催の挨拶



会場風景

を行いました。続いてご来賓の経済産業省製造産業

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第25回IFPEX2017開催へ・・・・・・・・・・1	標準化事業／規格事業・・・・・・・・・・4
委員会開催・活動状況	技術調査事業・・・・・・・・・・5
国際交流事業・・・・・・・・・・3	今後の行事予定・・・・・・・・・・6
標準化事業／ISO対策事業・・・・・・・・・・3	統計資料・・・・・・・・・・9

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL <http://www.jfpa.biz/>

局産業機械課の片岡隆一課長から開会のご祝辞をいただきました。祝辞終了後、ご来賓の片岡産業機械課長、主催者の当会永久会長、フジサンケイビジネスアイ上坂社長、併催展関係者によるテープカットが行われ開会式典は無事に終了し、10:00 にオープンしました。



開会式 テープカット

今回は会期の3日間とも天候に恵まれ、会期が3日間となったIFPEXでは過去最高の42,800名あまりの入場者を数え、盛況裏のうちに終了しました。一方、「水が機械を動かす」のテーマで開設した「水圧コーナー」への入場者も前回同様約4千名、説明を受けた方も延べ約550名に達しこちらも盛況裏のうちに終了できました。

開催初日の「人を幸せにするモノづくり」と題した勝間和代さんの特別講演会には、満員の260名あまりの方々が、その他、ユーザ技術フォーラムや水圧セミナーなどの講演会にも、多くの関係者の参加があり、盛況裏のうちに終了しました。さらに今回は昨年から実施している「ADS 国際標準化事業」についても説明会を開催し、多くの参加者が聴講しました。昨年度、本年度の2年わたり実施している「フルードパワー高齢者雇用促進事業」についても成果の一つであるガイドラインを主体に概要報告を行いました。また、今回も「(一社)日本フルードパワーシステム学会」殿の協力を受けカレッジ研究発表展示コーナーを設け、18大学・高専から25研究室が参加し、日頃の成果を展示発表しておりました。更に今回新しくJKAの補助金を受けて、大学で研究を行っているフルードパワーロボットの展示を5大学7研究室の協力の下実施いたし、好評を得ました。

なお、IFPEX2017の詳しい展示内容等については11月発刊予定の当会機関誌「フルードパワー」をご参照ください。

開会式における永久会長のご挨拶の要旨は以下の通りです。

「ただいまご紹介にあずかりました一般社団法人日本フルードパワー工業会会長の永久秀治でございます。第25回フルードパワー国際見本市 通称：IFPEX2017の開催にあたり、共同主催者でありますフジサンケイビジネスアイ殿、また、同時開催しております各展示会主催者を代表し、僭越ながら一言開会のご挨拶を申し上げます。

さて、先月28日に我々のユーザー業界であります日本建設機械工業会が建設機械の需要予測を発表いたしました。それによりますと、油圧ショベルは昨年度比プラス12%と上方修正されました。半導体製造装置産業も伸びており、私の体感では、油圧空気圧とも、当工業会が4月に予測した需要より5~6%程度上振れするのではないかとみておりました。工業会として近々需要見直しを実施しようと考えているところであります。

しかしながら、この景況がいつまで続くかはわかりません。このような時こそ、将来に向かってしっかりとしたビジョンを持って、より付加価値の高い産業にしていかなければいけないと思っております。こうした問題意識のなかで今回のIFPEX2017は、「つなげる未来へフルードパワーのものづくり」をテーマに掲げ、未来へ向かってより付加価値の高いものづくりと目指して企画いたしました。おかげさまで、国内外から約130社に及ぶ出展をいただき、幅広い機械産業を支えるフルードパワーシステムの最新技術や新製品を世界に向けて発信する場となったと思っております。



開会式で挨拶する永久会長

3日間ではありますが、同時開催展示会の方々とも協力して、基調講演、特別講演、フォーラム、各種学会・ユーザー技術セミナーなど多くの催しも企画しております。具体的には、産学連携の一環として大学や高専で研究されているフルードパワーロボットの動態展示や、当工業会が進めているADS(アクアドライブシステム)の国際標準化に焦点を当て

た水圧テーマコーナー、当工業会でまとめた高齢者雇用促進ガイドブックの説明会の開催など、幅広いユーザーの皆様方に最新のフルードパワー産業をご紹介させていただく場とさせていただきました。是非、じっくりと見ていただければと存じます。

最後になりましたが、IFPEX2017の開催にあたり、経済産業省をはじめ、フルードパワーシステム学会他、多くの団体、企業の皆様からご後援とご協賛をいただき、心より厚く御礼申し上げます。この展示会の成功をきっかけに、フルードパワー産業、ひいては我が国産業のさらなる発展に資すること、そして、ここにおられる関係者の皆様方の益々のご発展とご健勝を祈念して、私の開会の挨拶とさせていただきます。」

－IFPEX 2017FP ロボット展示の実施－

当会とフジサンケイビジネスアイで構成される「IFPEX2017 実行委員会」で企画立案したフルードパワーロボットの展示及びセミナーには、中央大学中村太郎研究室、東京工業大学鈴森・遠藤研究室、塚越秀行研究室、東京医科歯科大学川嶋研究室・東京工業大学只野研究室、立命館大学玄研究室の方々に参加していただき 12 のロボットが展示され、多くの来場者が集まり、フルード技術の応用の広さに感嘆していた方々も多く、成功裏に終了した。これは、JKA の補助金で実施したものです。



(立命館大学玄研究室ブース前)

委員会開催・活動状況報告

(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~  
国際交流事業  
~~~~~

プロダクトロニカ INDIA 展示会への出席

日時 9月14日(木)～16日(土)

場所 インド・ニューデリー

出席者 堀江(事務局)、他2名

日本半導体製造装置協会(SEAJ)が、インド市場開拓のために実施するプロダクトロニカ INDIA 2017(半導体関連見本市)出展計画に際して、当工業会会員がその主要部品を供給していることから、同時出展の企画がなされ、日本印刷機械工業会(JPMA)とともに共同出展という形で、工業会、SMC社及びCKD社がパネル及びカタログを展示公開し、事務局の堀江が参加した。



SEAJ ブース前での関係者全員の集合写真

今回、空気圧機器の母機メーカーである半導体製造関連の34社のパネル展示に共同出展させて頂いたのは初めての試みであった。

プロダクトロニカ INDIA と同時開催のエレクトロニカ INDIA(電子部品)合わせて出展社数455社(17カ国)、展示面積20,000㎡、来場者数19,028名であった。

インドに於ける半導体製造に関しては未だ遅れている感じはぬぐえないところがあるも、今回の展示会に参加したSMC社とCKD社にとってはインド市場の状況を把握できただけでなく、お客様である半導体製造装置メーカーの多くの方々と共同ブース内で知り合うことが出来たことは大きな収穫であったと思われる。

なお、これは、SEAJからの委託費で実施された。

~~~~~  
標準化事業/ISO対策事業  
~~~~~

*ISOの動き
投票に付されているISO規格案(FDIS, DIS)

(TC118)

ISO/FDIS 5393 Rotary tools for threaded fasteners -- Performance test method (Revision of: ISO 5393:1994)

~~~~~

標準化事業／規格事業

~~~~~

空気圧流量測定分科会

日 時 9月1日(金) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 5S-4 会議室

出席者 妹尾主査以下 10 名

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、ISO 6953-3 の JIS 化について審議した。10 月 3 日に JIS 原案作成本委員会の開催が予定されており、その前の最終審議として規格協会担当者にも参加頂き審議を行った。

次回開催：11 月 2 日(木) 機械振興会館

油空圧継手・ホース分科会

日 時 9月12日(火) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 6-62 会議室

出席者 板井主査以下 8 名

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、投票に掛かっている案件について審議した。ISO/DTS 17165-2 は、前回投票時のコメントが反映されていないため、同じコメントにてコメント付き承認で投票することにした。

次いで、ISO/TS 17165-2 の工業会規格化について審議した。主査から原案の説明がなされ、その内容に対し、日本ゴム工業会の研修会資料を参考に盛り込むことを検討することになった。

次いで、ISO 1179-1 の JIS 化について審議した。市場情報を収集し、JIS 化すべきか否かを検討することとした。

次回開催：12 月 7 日(木) 機械振興会館

油空圧シリンダ分科会

日 時 9月15日(金) 11:00 ~ 12:15

場 所 東京ビックサイト 東 4-商談室 1

出席者 榎本主査以下 8 名

事務局 前畑、千葉

議 事

前回議事録の確認後、主査より ISO 関連の投票等

の経緯説明があった。ISO/DIS 6099 については過去に承認されたが反映されていない日本のコメントを再度コメントとして提出した上で賛成とした。廃止投票に掛かっている ISO 3321:1975、ISO/TR 16806 及び ISO 4394-1:1980 の 3 件については、いずれも廃止に賛成投票を行った。

続いて、日本規格協会における JIS B 8366-3/-4 の改正の登録に対するヒアリングについて主査より報告があった。申請資料に対し一部注文があったが、改正については承認された。

最後に、JIS B 8366-3 及び JIS B 8366-4 の改正作業に関連し、本文は主査から、解説は東川委員からそれぞれの改正(案)について、説明があり審議した。

次回開催：12 月 8 日(金) 機械振興会館

空気圧制御技術分科会

日 時 9月20日(水) 13:15~16:15

場 所 機械振興会館 6-60 会議室

出席者 渡辺主査以下 5 名

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、6 月に開催された技術標準化委員会の報告が主査より行われた。

次いで、空気圧機器の制御に関する用語の制定について審議した。空気圧機器と上位機器とのインターフェースについて、各委員の事前調査結果の報告がなされ討議した。その結果、用語抽出の範囲を絞り込んで再調査することとした。

次回開催：2018 年 1 月 24 日(水) 機械振興会館

空気圧継手・チューブ分科会

日 時 9月21日(木) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 浅里主査以下 4 名

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、ISO/CD 14743 の JIS 化について審議した。日本国内の実情を踏まえ、インチサイズ及び 14mm サイズについては除外することとした。また、二面幅と流路径については、ISO 規格への掲載を次回の ISO 投票時に提案することとした。

次回開催：11 月 16 日(木) 機械振興会館

油圧フィルタ・作動油分科会

日 時 9月27日(水) 10:00 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 5S-4 会議室

出席者 難波主査以下 6 名

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、JIS 公募平成 29 年区分 B に申請した JIS B 9938 「難燃性作動油の使用指針」について、改正案を継続審議した。前回に引き続き、ISO 7745 に基づき JIS B 9938 原案修正作業を実施した。

次回開催：11 月 7 日(火) 機械振興会館

発行された JIS

JIS B 8356-1 油圧用フィルタ性能評価方法—第 1 部：フィルタエレメントの性能確認手順

~~~~~

技術調査事業

~~~~~

ADS 国際標準化推進委員会 (第 3 回)

開催日 H29 年 9 月 13 日 (水) 14:00~16:00

場所 東京ビッグサイト 2F 東 4 商談室 1

出席者 山口委員長・池尾委員長代行以下 26 名

事務局 千葉、前畑、大橋

議 事

1. 第 1 回大学訪問報告及び ISO 提案の進捗と今後
事務局から 6~7 月に山口委員長 (横浜地区のみ)・池尾委員長代行に同行して頂き、本年度第 1 回の大学訪問を実施し、5 大学における事業の進捗状況について確認等を行ったことを報告した。また、ISO の規格化に向けて、標準化アイテム作成手順と項目について確認し、10 月 18 日より企業側委員による小委員会の開催を行うこととし大日程計画にて説明した。

引き続き、ISO 提案の進捗と今後について千葉部長から説明を受けた。5 月 18 日の ISO-TC131 委員会における新規プロジェクト案提案(00.00)の結果、現在、登録段階(10.00)にあり 10 月 7 日に投票(10.20)が行われる。投票の設問内容と投票結果から承認に至る条件、その後の段階の概要が追加資料により解説された。

2. 平 29 年度 WG 第 2Q 実施結果と第 3Q 計画

提出資料に基づき、各 WG から四半期毎の実施経過と予定、課題事項等が報告された。

3. IFPEX2017 水圧テーマコーナー参観

本日から開催した水圧テーマコーナーにて展示中の大学 WG パネル、実演物、企業側展示、動態装置などの見学を行った。これに先立ち、横浜国大、信州

大学からの参加学生より午前中のアテンド状況について簡単に報告を受けた。

次回開催：

第 1 回規格小委 10 月 18 日(水) 機振会館 6-60

第 3 回委員会 10 月 10 日(火) 機振会館 B3-6

技術委員会空気圧部会第 539 回特許分科会

日 時 9 月 15 日 (金) 13:00 ~17:00

場 所 東京ビックサイト

出席者 出澤幹事以下 5 名

事務局 吉田

議 事

はじめに前回議事録及び配付資料の確認を行った。公報の検討と無効理由調査について、ウォッチング対象の 3 件については経過を観察していくこととした。2 件については引き続き調査を行うこととした。新たに 1 件の調査を開始することとした。

次回開催：10 月 13 日 (金) 長岡京市中央生涯学習センター 会議室 3

技術委員会 水圧部会 (平 29 年度第 6 回)

—IFPEX 出展社会議・反省会—

日時 9 月 22 日 (金) 14:30~17:00

場所 機械振興会館 B3-1 会議室

出席者 大林リーダー以下 17 名

事務局 大橋

議 事

IFPEX 終了直後であり、出展企業による反省会一事前に提出していただいた下記項目についての発表と説明—を中心とし、活発に意見交換がなされた。参加者の多くが、総じて来訪者も多く、手ごたえのあった展示会との印象であった。一方、ブース内の配置、表示方法の改善事項等反省点や今後に向けた問題点の指摘も多かった。

① 展示内容 (出展物、配布資料、パネル、ディスプレイ、わかり易さなど)

② ブース (大きさ、配置、見易さ、入り易さ)

③ アテンド (来場者への対応、調査方法)

④ 事前 PR (ブログ、機関誌、ダイレクトメール)

⑤ ADS 国際標準化活動に対する反応 (パネル、動態展示物、ディスプレイ)

⑥ その他全般 (事前準備~会期中~搬出までの詳細)

来場者アンケート調査結果については、配布済みのアンケート調査表に記入して 11/16 までに提出しまとめることとした。

ブログにて出展御礼の 2 記事を会場写真とともに

掲載済みであり、今後、動態展示装置、パネル等展示内容の紹介を継続実施する予定。

次回開催：11月中・下旬実施予定で調整する。

~~~~~

今後の主要行事予定

~~~~~

☆10月26日(木) 西日本支部総会

第81回理事会

(場 所) 宝塚ホテル

☆10月27日(金) 西日本懇親ゴルフ会

(場 所) 宝塚カントリー倶楽部

☆12月15日(金) 第26回政策委員会

(場 所) JFPA 会議室

*平成30年

☆1月11日(木) 年始会・第82回理事会

(場 所) 東京プリンスホテル(芝公園)

☆4月20日(金) 第83回理事会

(場 所) ザ・プリンスさくらタワー
高輪

~~~~~

9月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)

~~~~~

(標準化事業/規格事業)

空気圧流量測定分科会

開催日 9月1日(金)

出席者

主 査 妹尾満(SMC)

委 員 大竹崇(CKD)

〃 若原洋行(TAIYO)

〃 佐々木政彰(アズビルTACO)

〃 進藤克己(クロダニューマティクス)

〃 斉藤悠(コガネイ)

〃 八手又秀浩(日本ピスコ)

〃 香川利春(東京工業大学)

〃 眞田一志(横浜国立大学大学院)

特別委員 古田豊(日本規格協会)

油空圧継手・ホース分科会

開催日 9月12日(火)

出席者

主 査 板井淳一(横浜ゴム)

委 員 岩崎宏文(イハラサイエンス)

〃 西脇俊一(ニッタ)

〃 緒方征嗣(日東工器)

〃 小島研二(日本ホース金具工業会)

〃 小島博(十川ゴム)

〃 横岡慎吾(ブリヂストン)

〃 金城良(東京計器)

油空圧シリンダ分科会

開催日 9月15日(金)

出席者

主 査 樫本晴夫(甲南電機)

委 員 塩田浩司(コガネイ)

〃 吉田泰裕(CKD)

〃 東川智信(TAIYO)

〃 渡部文雄(日本シリンダ共同事業)

〃 河野喜之(甲南電機)

〃 谷口 長(SMC)

〃 東中竜一(豊和工業)

空気圧制御技術分科会

開催日 9月20日(水)

主 査 渡辺敏之(TAIYO)

委 員 米田充基(CKD)

〃 楊春明(SMC)

〃 金子幸夫(コガネイ)

〃 高橋隆通(甲南電機)

空圧継手・チューブ分科会

開催日 9月21日(木)

出席者

主 査 浅里信之(ニッタ)

委 員 條茂幸(SMC)

〃 細谷映之(アオイ)

〃 八手又秀浩(日本ピスコ)

油圧フィルタ・作動油分科会

開催日 9月27日(水)

出席者

主 査 難波竹己(日本ポール)

委 員 一ノ瀬健夫(SMC)

〃 山田高志(大生工業)

〃 相場宣慶(東京計器)

〃 富澤愛喜(ボッシュ・レックスロス)

〃 三好真介(MORESCO)

(技術調査事業)

技術委員会空気圧部会第 539 回特許分科会

開催日 9月15日(金)

出席者

幹事 出澤 大(クロダニューマティクス)

委員 栗盛宏樹(アズビルTACO)

〃 井野雅康(SMC)

〃 今野英俊(コガネイ)

〃 細田一也(CKD)

第3回ADS国際標準化推進委員会

開催日 9月13日(水)

出席者

委員長 山口 惇(横浜国立大学)

委員長代行 池尾 茂(上智大学)

委員 桜井康雄(足利工業大学)

〃 眞田一志(横浜国立大学)

〃 鈴木健児(神奈川大学)

〃 飯尾昭一郎(信州大学)

〃 柳田秀記(豊橋技術科学大学)

〃 吉田太志(KYB)

〃 井口 務(廣瀬バルブ工業)

〃 黒須 寛(イハラサイエンス)

〃 村田秀紀(阪上製作所)

〃 鳥居良介(阪上製作所)

〃 細井耕平(堀内機械)

〃 齊藤理人(日本アキュムレータ)

ワグザンバー 小松康弘(野村総合研究所)

学生 内田達也(横浜国立大学)

〃 平原雄一(横浜国立大学)

〃 藤本裕敬(豊橋技術科学大学)

〃 鈴木勇太(豊橋技術科学大学)

〃 岡部仁美(信州大学)

〃 田中友季子(信州大学)

技術委員会 水圧部会(平29年度第6回)

開催日 9月22日(金)

出席者

委員 大林義博(KYB)

〃 村田秀紀(阪上製作所)

〃 鳥居良介(阪上製作所)

〃 柿木宗之(タイヨーインタショナル)

〃 細井耕平(堀内機械)

〃 高橋永治(マルヤマエクセル)

〃 黒須 寛(イハラサイエンス)

〃 内田 晃(日本アキュムレータ)

〃 築山 真(マツボー)

〃 宇根利典(宇根鉄工所)

〃 古本 篤(三輪精機)

〃 相澤健二(日工産業)

[ワグザンバー] 荒井一則(フジサンケイビジネスイ)

〃 富山俊作(フジサンケイビジネスイ)

〃 内田元起(ティ・シー・エス)

(振興対策)

空気圧本部会

開催日 9月5日(火)

出席者

本部長 富田勝憲(SMC)

副〃 湯原真司(CKD)

幹事 中村賢次(ニューエラー)

会計 長谷川靖(甲南電機)

委員 桑原 修(SMC)

〃 安藤 進(オリオン機械)

〃 西村安弘(クロダニューマティクス)

〃 川崎久士(コガネイ)

〃 澤田啓支朗(タイヨーインタショナル)

シリンダ部会

開催日 9月14日(木)

出席者

部会長 河井 崇(KYB)

委員 渡辺和功(大垣鐵工所)

〃 村上博昭(光陽精機)

〃 米田正晴(TAIYO)

〃 吉富英明(南武)

〃 増井丈雄(日本シリンダ共同事業)

〃 福田賢二(堀内機械)

〃 沢部 充(三尾製作所)

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<9月>

1日(金)

・標準化(委)空気圧流量測定分科会

5日(火)

・振興対策 空気圧本部会

12日(火)

・標準化(委)油圧継手・ホース分科会

13日(水)~15日(金)

・振興対策 第25回IFPEX2017開催

14日(木)

・振興対策 シリンダ部会

14日（木）～16日（土）

・国際（委）プロダクトロニカ INDIA 展示会

15日（金）

・標準化（委）油空圧シリンダ分科会

・技術（委）空気圧部会第539回特許分科会

20日（水）

・標準化（委）空気圧制御技術分科会

21日（木）

・標準化（委）空気圧継手・チューブ分科会

22日（金）

・技術（委）水圧部会

27日（水）

・標準化（委）油圧フィルタ・作動油分科会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>
